

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和6年度第1回岩手県大規模事業評価専門委員会

2 開催した日時

令和6年6月12日（水）9：30～12：15

3 開催場所

エスポワールいわて 3階 特別ホール（盛岡市中央通1丁目1-38）

4 出席委員

狩野徹委員長、島田悦作委員、濱上邦彦委員、松山梨香子委員、八重樫健太郎委員、山本英和委員（8名中6名出席）

5 専門委員会議題等

（1）議題

ア 令和6年度専門委員会の開催スケジュールについて

政策企画課から、令和6年度大規模事業評価専門委員会の開催スケジュールを説明。

併せて、公共事業評価から大規模公共事業評価へ移行する場合の取扱いについて説明。

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

（質疑）

公共事業評価から大規模公共事業評価へ移行する場合の対応の例外について、社会的要因による増額は理解できるが、それ以外ではどのような増額があるのか。

（回答）

随時再評価の要件として、例えば、施工区間の変更、事業地区の追加、起終点の変更、主要な工事内容の変更などは事業計画の大幅な変更として、随時再評価を実施している。

事業費の増額については、社会的要因によるものなのか、工法の変更等によるものなのか、増額要因を見極めた上でこれまでも判断している。

（質疑）

50億円以上となることが分かったタイミングが、原則となるか例外となるかの重要な分かれ目になると思うが、見直しのタイミングはどうなっているのか。

（回答）

翌年度の再評価の対象事業を抽出するタイミングの他、10月頃に行う毎年度の継続評価のタイミングでも事業計画の大幅な変更がないかどうか精査している。

イ 大規模施設整備事業の事前評価について〈諮問審議〉

事前評価対象事業として諮問があった大規模施設整備事業2件について、事業担当課から評価内容について説明があり、これについて審議が行われた。

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

【岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業】

(質疑)

整備事業費の設備費が未定となっているが、対象設備や概算額の目安はあるのか。

(回答)

新校舎建築に伴い、机や実習機械の更新を予定しているが、どの程度更新が必要であるか、今後学校側の要望を踏まえて検討することから、現時点では未定としている。

(質疑)

老朽化が進むとともに、東日本大震災から10年以上経過したものの、これまで改修・更新が行われなかったのはなぜか。

(回答)

県立高校の6割以上が築40年を超えている状況であり、なかなか整備が進まないのが現状である。計画的な整備に努めているところであり、今回、最も老朽化の進んでいる当該3校舎を一体的に整備する計画としている。

(質疑)

今回の施設整備事業は、令和3年度から令和7年度までの高校再編計画後期計画に基づいているものと理解しているが、新校舎の供用開始は令和9年度の予定であり、令和8年度以降の宮古地域の定員配置の見通しについては議論されているのか。また、本事業計画とどのようにリンクするのか。

(回答)

令和8年度以降の県立高校の在り方について、昨年度から有識者のご意見をお聴きするとともに、今年度は各地域でご意見を聴く懇談会を開催するなど、次期計画策定に向けた準備を進めているところ。

令和7年度までの後期計画において、3校舎を一体的に整備するという基本方針を定め、現在の定員に基づき適正な施設規模を検討したところだが、整備時期がそれ以降となることについては、ご理解いただきたい。

なお、生徒数の減少については、今後も全県的に進む見込みであることから、生徒数の実態に合った施設整備について、本事業を契機に今後も検討を進めていく。

(質疑)

県の財政状況が厳しい中で、本事業を実施すれば他の地域では遅れが生じることになると思われるが、全県で議論した上で、本事業を優先して実施することとしたのか。

(回答)

例えば、工業高校については、県南地域の再編なども議論しているところであり、施設整備も含めて全県的に議論した上で、今回、宮古地域での事業計画としている。

(質疑)

一体整備により効率性を図ることは理解できるが、延床面積の縮小に伴い、避難施設としての機能や防災拠点としての位置付けについて検討しているのか。

(回答)

現在は、宮古商工高等学校商業校舎のグラウンドが緊急避難場所に指定されている。宮古市河南地域では、他に磯鶏小学校と河南中学校が指定されている。新校舎の位置付けについても宮古市から要望があれば協議していく。体育館も含めて避難施設として対応可能と見込んでいる。

(質疑)

来年の省エネ基準の改定に対応して設計されると思うが、目指す省エネ基準の考え方は。また、総事業費には概算額が含まれているか。

(回答)

県の方針に基づき ZEB Ready 相当を目指し、概算額は総事業費にも含んでいる。

(質疑)

整備面積及び整備費用について、適正と判断した根拠は。

(回答)

新校舎の建築単価は、51.3 万円/㎡程度を想定している。これまでの県立高校の整備実績では、令和 4 年度の釜石祥雲支援学校が 53.2 万円/㎡、令和 3 年度の伊保内高等学校が 50.4 万円/㎡であり、これらと比較して過大ではないと判断している。

(質疑)

建築単価は過去の整備実績とあまり変わらないようだが、昨今の物価高騰も加味した事業計画としているのか。

(回答)

今後の物価上昇分も見込んだ形での事業計画としているが、さらに高騰した場合には、対応について財政課と協議する。

(質疑)

グラウンド整備の考え方及び費用は。

(回答)

宮古商工高等学校工業校舎に野球とラグビーの専用グラウンドがあるが、それを宮古水産高等学校の敷地に整備することで、現在の部活動を維持できるようにする。グラウンド整備費用については、両校合わせて約 8 億円程度を想定している。

【紫波警察署庁舎等整備事業】

(質疑)

老朽化だけでなく狭隘化の解消を目的としていたが、結果的に他の警察署に比べて敷地面積が非常に小さいものとなっているが大丈夫か。

(回答)

予算の範囲内で、業務に支障のない最低限必要な面積を確保しており、庁舎部分の面積は 2 倍以上となっている。

(質疑)

警察施設は、費用便益分析 (B/C) による効率性の検証を行わないと記載されているが、そのような場合の評価基準の考え方は。

(回答)

警察施設の場合は、機密性が求められ、外部に開放できる部分がほとんどなく、費用便益分析を行うことが困難であるが、定性的な効果も含めて総合的に評価している。

なお、P F I 手法の導入を検討した際にも、採算性が取れないと評価している。

(質疑)

総事業費に設備費は含まれているか。

(回答)

過去の事例を踏まえ、概算額を計上している。

(質疑)

敷地の一部に洪水浸水想定区域があり、庁舎の位置をそこにかからないようにするということだが、実際の災害では必ず超えないということはないので留意いただきたい。

(回答)

基礎部分も多少嵩上げする予定としている。

ウ 大規模公共事業の再評価について<諮問審議>

再評価対象事業として諮問があった大規模公共事業3件について、事業担当課から評価内容について説明があり、これについて審議が行われた。

なお、会議時間の都合上、質疑時間が限られたため、会議当日は各1名のみ質疑を受け付け、その他の質疑は、後日事務局が取りまとめ、継続審議で回答することとした。

■ 専門委員会からの主な質疑等は次のとおり

【若柳中部経営体育成基盤整備事業】

(質疑)

希少野生動植物の対応として、生息適地への移植(植物)とあるが、本事業の保全対象は植物だけか。

(回答)

事業開始前に、希少野生動植物調査検討委員会の各分野の有識者に現地調査いただき、本事業では、そのご意見を踏まえ当該対応を行ったもの。

【馬淵川広域河川改修事業】

特になし。

【都市計画道路整備事業 盛岡駅本宮線(杜の大橋)】

(質疑)

「事業計画の変更の有無及び内容」の中項目評価が「b」で、事業計画の大幅な変更ではないと整理されているが、当初26億円から今回55億円に増額となり、金額的に非常にインパクトが大きく感じる。金額が外部要因で、工事内容が変わらないから大幅な変更ではないという整理の仕方での良いのか。当初の事業費の見積自体が妥当であったのかという観点からも整理が必要ではないか。

(回答)

「事業計画の変更の有無及び内容」の中項目評価の考え方としては、他事業と相違ないものと考えている。

もう一つの判断軸としては、費用便益分析(B/C)と考えており、たしかに総事業費が増加したものの、それに対する便益も1以上(B/C=3.1)確保されており、交通戦略に基づいた都市計画道路の整備として、4車線化が、将来的には、今の中心市街地と後で整備される盛岡南新都心の市街地を結ぶ交通軸としての重要性を表している。

エ 第2回専門委員会(現地調査)について

現地調査の実施について、案の1のとおり、岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校、盛岡駅本宮線(杜の大橋)を現地調査することとなった。

(2) 会議資料

- 資料 No. 1 令和6年度大規模事業評価専門委員会の開催スケジュール（案）
- 資料 No. 2 大規模事業評価諮問書（写）
- 資料 No. 3 令和6年度大規模事業評価地区 位置図（R6.6諮問）
- 資料 No. 4 大規模事業評価関係資料

【事前評価】

- ・岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業（宮古市）
- ・紫波警察署庁舎等整備事業（紫波町）

【再評価】

- ・若柳中部経営体育成基盤整備事業（奥州市）
 - ・馬淵川広域河川改修事業（二戸市、八幡平市、一戸町）
 - ・都市計画道路整備事業 盛岡駅本宮線（杜の大橋）（盛岡市）
- 資料 No. 5 令和6年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程（案）
- 参考資料 No. 1 公共事業評価から大規模公共事業評価へ移行する場合の取扱いについて
- ※ 会議資料及び会議録については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

6 傍聴人数

一般 0人、報道 2社

7 問い合わせ先

〒020-8570 盛岡市内丸10番1号

岩手県政策企画部政策企画課 TEL：019-629-5181 FAX：019-629-6229

8 ホームページアドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/hyoukasenmon/1074876/1075380.html>

9 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先までFAX等でお寄せください。今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。